



営農だより



鳥獣対策コーナー

第3回目の鳥獣対策コーナーでは、イノシシについて紹介します。夏から秋にかけて水稻の被害が多く発生します。今回イノシシの生態や対策を知ってもらい、今後の対策に役立てていただければ幸いです！

第3回「イノシシ」

イノシシの生態

食性	植物性を中心とした雑食性。タケノコ、木の実、根茎類の他にも昆虫、ミミズなどを食べる
運動能力	120cmを飛び越える能力があり、20cmのすき間があればすり抜られる、また鼻で持ち上げる力も強く70kg程度の石を押すことが可能
視覚	青系の色は識別できるが、赤や緑系の色は灰色と区別出来ない



引用：島根県中山間地域研究センター

周辺環境の整備

イノシシは環境の変化に敏感な動物です。農地に隣接するヤブを刈り払い、隠れ場所を無くす事で農地に近づきにくくなります。人とイノシシの生活圏の線引きをする事で住み分けを行います。この方法はイノシシだけでなく他の害獣対策にもなります。

侵入防止柵の設置

柵の設置後の維持管理が重要で、徹底しないと侵入を許す事になってしまいます。電気柵については第1回の鳥獣対策コーナーを参考にしてみてください。

まだ被害が無い耕作地	周辺で被害発生があれば、被害が無いうちに設置する
無積雪地域	可能であれば年中設置する※（電気柵は常時通電）
多積雪地域	春期以降の早期に設置、もしくは積雪に強い柵を選択する

※休耕時期に侵入を許すと、その場所を安全だと学習してしまう。



秋作ブロッコリーを栽培してみませんか！

営農指導員より栽培のポイント

品種：おはよう・アーリーキャノン（※根こぶ抵抗性品種）を使用

1aあたり400本定植。（JAで育苗・苗の供給を行っています）

管理機・定植機の貸し出しを行っています。

マルチは高温になるため使用しませんので除草剤を使用してください。

定植後活着するまでは灌水が必要で、病害虫の防除も定期的に行ってください。

秋作ブロッコリー経営収支 （島根県農業経営指導指針参考）

	2a作付けした場合の収支
主産物	73,800円
経営費 苗代金	7,350円
経営費 肥料代	9,110円
経営費 農薬代	4,464円
経営費 販売費	27,584円
その他経費※	2,244円
経費合計	50,752円
所得	23,048円

※動力光熱費、小道具費

ブロッコリー （品種）	7月	8月	9月	10月	11月
おはよう	●	▲▲		■	
アーリーキャノン	●	▲▲		■	
	種まき	定植		収穫	



生産者（伊藤秀樹さん、智美さん）

定植後雨が降らないと苗が枯れてしまうので上から水をかけています。

生育時には病気や害虫の発生に気を付け定期的な防除をしています。

他産地からの出荷が少ない時期（10月）に収穫になるので単価も安定しています。